

震災検証の基本的考え方

基本的考え方

【東日本大震災】
1,000人あまりの生命が失われる悲劇
津波災害が繰り返される三陸沿岸



先人の「教訓」は、なぜ生かされなかったのか？



【検証テーマ】
繰り返された津波の悲劇から何を学び何を未来に生かすのか



未来に伝える「教訓」の明確化

震災を後世に引き継ぐ地域文化の醸成

事業内容・進め方

何が起こったのか：事実の整理
(どのような行動をしたのか)

そこから学んだことは何か
：課題・教訓の整理

学んだことをどう生かすのか
：教訓の活用

震災・復興の証言・記録を整理する
(継続中)

- 震災関係資料の整理収集・調査

後世に引き継ぐ課題・教訓を整理する

- 【検証報告書・教訓のとりまとめ】
- (平成23年度)
 - 情報通信など16項目の対応状況・問題点の概略整理
 - ⇒ 被災状況調査・市の対応調査・住民アンケート調査
 - (平成25年度)
 - 避難行動に関する証言等の取りまとめ・分析
 - ⇒ 被災21地区分析・マップ化・学校等の避難行動調査
 - ⇒ 避難行動の教訓案の取りまとめ
 - (平成26年度)
 - これまでの検証成果をもとに、対応状況・課題整理・原因分析
 - ⇒ 災害対策本部編/避難所編/学校編/地域編
 - (平成27年度)
 - これまでの検証報告書をもとにした市民向けの教訓の取りまとめ

被災地の「教訓」を全国に発信する

震災・復興を映像化して記録する
(継続中)

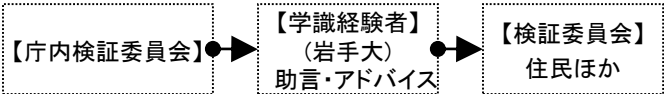
- 震災を経験した市民の声(オーラルヒストリー)の記録
 - ⇒ 被災者、復興キーパーソンインタビューなど
- 「思い出の品」(震災拾得物)の保存整理
 - ⇒ 写真などの思い出の品のデータ化・整理・保存処理
- 震災・復興の歩みの記録
 - ⇒ 市内定点撮影等

震災誌の発刊
震災・復興の記録保存

防災市民憲章の制定
防災意識・防災教育の向上

防災施策への反映
地域防災計画・まちづくりのガイドライン・震災メモリアル施設

【検証作業の進め方】



* オーラル・ヒストリー
インタビューから歴史史料を作成する方法